

不変ふへんの法ほうに歩あゆむ ― 慎つつしんで放逸ほういつなること勿なかれ ― (七版)

法ほうに目覚めめて教おしえを遺のこす

釋迦牟尼佛しゃかむにぶつ

不変ふへんの法ほうに外そとは無なし

神かみさえ法ほうの中なかに在あり

諸行しよぎよう無常むじようは全すべてが動うごく

諸行無常しよぎようむじよう

不動ふどうの己おのれは錯誤さくごなり

一切縁起いつさいえんぎに變轉へんてんす

諸法しよほうは無我むがと覺悟かくごせん

諸法無我しよほうむが

無我むがに己おのれと執しゆうすれば

家柄いえがら學歷がくれき 評判ひようばんと

固かためて歩あゆみを錯あやまらん

得難えがたき人身ひとと生うまれたり

正ただしく歩あゆむ教おしえ聞きく

徒いたずら氣終きまに任まかせず

仙ほとけの生死いのちに調ととえん

けんぶつもんぼうしゆつ けとくどう

見仏聞法出家得道けんぶつもんぼうしゆつ けとくどう

精進こそ不死の道しやうじん ふし みち

放逸こそ死の小徑ほういつ し こみち

涅槃寂静ねはんじやくじよう

涅槃寂静ねはんじやくじよう

涅槃寂静ねはんじやくじよう